

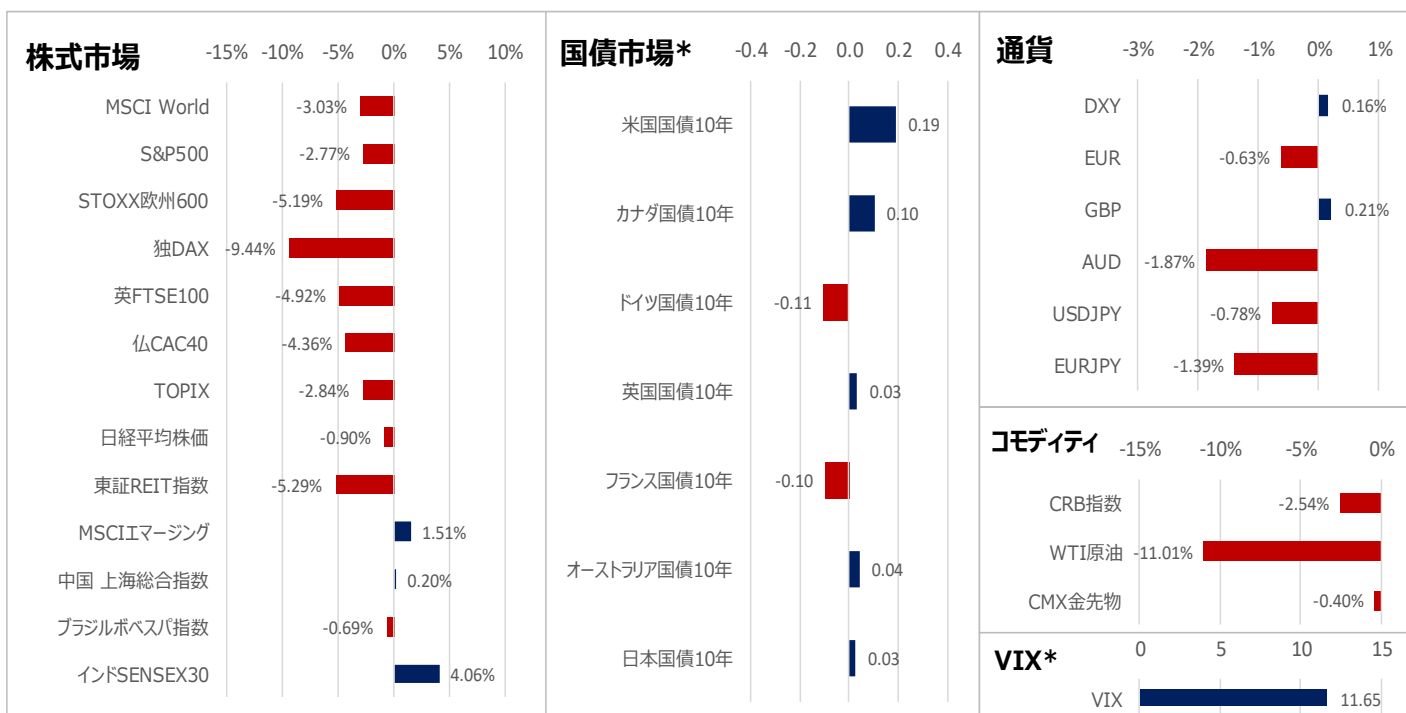
マンスリーレビュー&アウトルック

2020年11月

2020年10月の市場概況

- グローバル景気見通しの悪化や、米大統領選を控えた不透明感から**先進国市場を中心に株安が進む**。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者が急増した月末にかけて**欧米株は急落**
- 政策期待や景気見通し改善を受けた**中国株の上昇**に主導され、**新興国株は堅調**
- 「ブルーウェーブ」観測から米財政悪化が懸念され、**米国債のカーブはベアスティープ化**。一方、景況感悪化から**欧州国債利回りは低下基調**
- 欧米の感染再拡大が嫌気され、**米ドル・ユーロが軟調**、ドル円は月末にかけて**円高基調が強まり104円台へ**

2020年10月（9/30～10/30）のグローバル市場動向



※前月末比騰落率、*は騰落幅

プラス要因



- 米大統領選不透明感の後退
- 新型コロナウイルス向けワクチン・治療薬の開発
- 米大型追加対策の進展

マイナス要因



- 新型コロナ抑制のための行動規制の長期化
- 米中対立や英・EU交渉などの地政学リスク

	2020/10/30	過去1か月	3か月	年初来
MSCI World (現地通貨建て)	7,491.52	-3.03%	0.15%	-1.66%
S&P500	3,269.96	-2.77%	-0.04%	1.21%
STOXX欧州600	342.36	-5.19%	-3.92%	-17.67%
独DAX	11,556.48	-9.44%	-6.15%	-12.77%
英FTSE100	5,577.27	-4.92%	-5.43%	-26.05%
仏CAC40	4,594.24	-4.36%	-3.96%	-23.15%
TOPIX	1,579.33	-2.84%	5.57%	-8.25%
日経平均株価	22,977.13	-0.90%	5.84%	-2.87%
東証REIT指数	1,635.35	-5.29%	-1.75%	-23.78%
MSCIエマージング (現地通貨建て)	148,790.20	1.51%	2.05%	4.49%
中国 上海総合指数	3,224.53	0.20%	-2.58%	5.72%
ブラジルボヘバ指数	93,952.40	-0.69%	-8.71%	-18.76%
インドSENSEX30	39,614.07	4.06%	5.34%	-3.97%

国内株式：米株高に連れ上旬の日本株は上昇したが、中旬以降はレンジ内でのみみ合いが続き、月末にかけては欧米株急落に連れて日本株も下落基調。ただし新型コロナの感染が相対的に抑制されていることから下げ幅は限定的なものにとどまった。目先不安定な相場展開を想定するが、業績底打ちの兆しが見られ、外部環境が落ち着けば急反発の可能性。

米国株式：追加経済対策や企業決算への期待感が追い風となり、中旬にかけ堅調に推移したものの、その後は新型コロナの感染再拡大が嫌気されて値を崩し、月末にかけては制限措置再導入を材料に下げ幅が拡大。当面は値動きの激しい展開を想定。金融緩和長期化は株価下支えとなるものの、新型コロナの感染状況によっては下値を試す展開。

欧州株式：米株高に連れ上昇する場面もあったが、月後半にかけては米大統領選を前に警戒感が高まり、また、新型コロナ再拡大による景気見通し悪化も嫌気され、欧州株も下落基調を強めた。全土でロックダウンを再導入するフランスを始め、主要国では行動制限を強化、欧州景気回復の勢いは失われつつあり、短期的には株価の下値リスクが高まっている。

新興国株式：中国株主導で新興国株は堅調。原油価格下落を受けロシア株は売られ、利上げ見送りが嫌気されてトルコ株も下落したが、景況改善や政策期待で中国株は上昇し、業績底入れ観測からインド株も底堅い。当面は外部要因により値動きの荒い展開を想定。株価バリュエーションの割安感も薄れており、上値の重い展開が続く見通し。

プラス要因



- 主要中銀による積極的緩和の長期化/追加緩和
- 新型コロナ感染拡大による行動規制強化と景況悪化
- インフレ圧力の低迷

マイナス要因



- 大規模経済対策に伴う財政悪化/国債増発
- 金融/財政下支えによる景気急回復

	2020/10/30	過去1か月	3か月	年初来
(国債利回り)	(利回り %)	(利回り騰落幅)		
米国国債10年	0.874	+0.190	+0.346	-1.044
カナダ国債10年	0.661	+0.102	+0.197	-1.038
ドイツ国債10年	-0.627	-0.105	-0.103	-0.442
英国国債10年	0.262	+0.033	+0.158	-0.560
フランス国債10年	-0.343	-0.099	-0.150	-0.458
オーストラリア国債10年	0.828	+0.041	+0.013	-0.543
日本国債10年	0.042	+0.026	+0.022	+0.053
		(トータルリターン…騰落率、スプレッド…騰落幅)		
USD投資適格社債_トータルリターン		-0.18%	-2.33%	7.08%
USD投資適格社債_対米国債スプレッド	+1.35	-0.10	-0.04	+0.34
USDハイールド社債_トータルリターン		0.51%	0.42%	1.13%
USDハイールド社債_対米国債スプレッド	+5.09	-0.08	+0.21	+1.73

※対米国債スプレッドとは米国債との利回り格差

日本国債： 国債増発懸念から日本国債は当初売られたが、新型コロナ感染再拡大による世界的な景気見通しの悪化から、半ばにかけ国債利回りは低下、下旬にかけては米国債利回り急騰に連れ国内債は再び売られる展開。日本国債利回りは年末に向け低下基調を想定、欧米の感染再拡大による景気下振れリスクが高まっており、国内債利回り上昇圧力は限定的と判断する。

米国債： 米追加経済対策への期待から米国債は売りが先行、欧米での新型コロナ感染が再拡大して買い優勢となる場面もあったが、バイデン候補優勢を受け財政悪化や国債増発が懸念され、月末にかけ国債利回りは上昇した。米国債は目先レンジ取引を想定。国債増発が米国債の上値を抑えるものの、感染再拡大によるグローバル景気の不透明感から利回り急騰リスクは限定的。

欧州債： 米国債に連れ欧州国債利回りが上昇する場面もあったが、新型コロナの感染再拡大に対応したフランス、ドイツなどのロックダウン再導入により欧州の景気見通しが悪化、ブレグジットを巡る不透明感もあって、月末にかけ欧州主要国債利回りは低下基調。年末にかけては、財政悪化や米国債利回り上昇、ロックダウンによる景況悪化などを材料に一進一退の展開を想定。

新興国ドル建て国債： 新興国ドル建て国債は市場ごとにもちまち、基準となる米国債利回りは月末にかけて上昇したものの、信用スプレッドは総じて縮小基調をたどり、全体としては堅調。対米関係改善期待からメキシコが堅調、アルゼンチン、スリランカは大幅続落。米金利上昇は新興国ドル建て債にマイナスながら、世界的な景況感悪化から利回り上昇リスクは限定的。

米ドル プラス要因

- 米追加経済対策による景気下支え
- ECBの追加緩和/BOEのマイナス金利
- 地政学リスクの高まりによるリスク選好の後退

米ドル マイナス要因

- 新型コロナ感染拡大による米国内のロックダウン強化
- FRBによる量的緩和の拡大

	2020/10/30	過去1か月	3か月	年初来
DXY	94.04	0.16%	0.74%	-2.44%
EUR	1.1647	-0.63%	-1.11%	3.87%
GBP	1.2947	0.21%	-1.05%	-2.34%
AUD	0.7028	-1.87%	-1.61%	0.10%
USDJPY	104.66	-0.78%	-1.11%	-3.64%
EURJPY	121.93	-1.39%	-2.26%	0.13%
CRB指数	144.73	-2.54%	0.72%	-22.10%
WTI原油	35.79	-11.01%	-11.12%	-41.39%
CMX金先物	1,879.90	-0.40%	-4.22%	23.43%
VIX*	38.02	+11.65	+13.56	+24.24

*期間騰落は変化幅

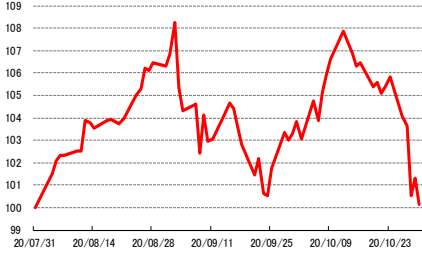
米ドル：大統領選後の財政悪化が注目を集め、主要通貨に対し米ドルは軟調。ドル円レートは月末にかけて再び103円台をうかがう水準まで円高が加速。目先、値動きの激しい不安定な相場展開を想定、新型コロナの感染拡大を受けてリスク回避の円高が進みやすい局面。

ユーロ：欧州主要国における新型コロナの感染拡大が加速し、ユーロ圏経済の見通しが急速に悪化、主要通貨に対してユーロは下落基調を強めた。ECBによる追加緩和期待も根強いことからユーロの上値は重く、英・EUの通商交渉難航もユーロ安要因。

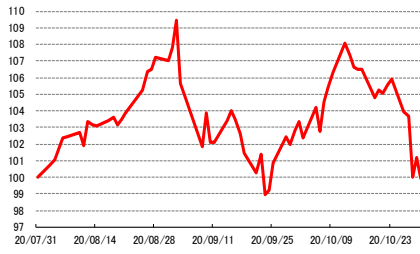
原油：中国の原油輸入増や産油国の協調減産継続に対する期待から、中旬にかけ原油市況は堅調。月末にかけては世界的な景気見通し悪化から原油価格は下落した。ロックダウン拡大による需要減を受け軟調な展開が続くと見るが、月末のOPECプラスにおける協調減産延長見通しや、バイデン新政権の環境対策による原油需給のタイト化が想定され、下値リスクは限定的。

金：米追加景気対策協議の難航や米ドル安の進行から金価格は上昇して始まり、その後はレンジ内の推移が続いたが、先進国で新型コロナ感染者数が過去最多となったことから現金化の動きが加速、月末にかけては急速に下げ幅を拡大した。当面は不安定な展開を想定するが、金融緩和の長期化や世界景気の不透明感を背景に、金価格は底堅く推移する見込み。

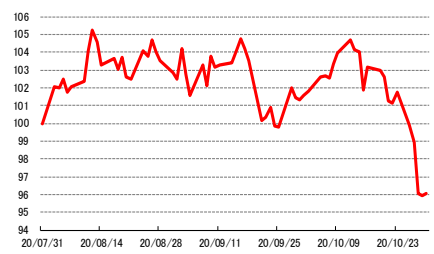
1. MSCI World 株式 USD
終値: 7,491.52 期間騰落率: +0.15%



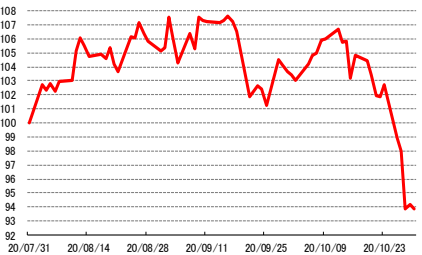
2. S&P500 株式 USD
終値: 3,269.96 期間騰落率: -0.04%



3. STOXX欧州600 株式 EUR
終値: 342.36 期間騰落率: -3.92%



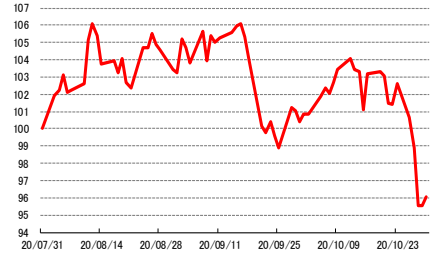
4. 独DAX 株式 EUR
終値: 11,556.48 期間騰落率: -6.15%



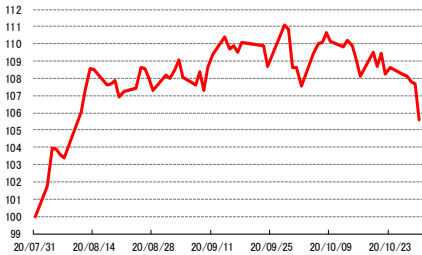
5. 英FTSE100 株式 GBP
終値: 5,577.27 期間騰落率: -5.43%



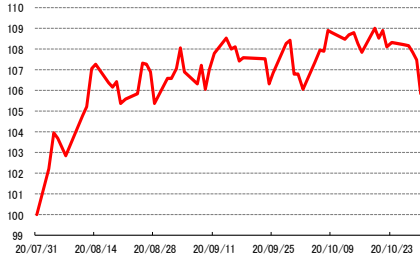
6. 仏CAC40 株式 EUR
終値: 4,594.24 期間騰落率: -3.96%



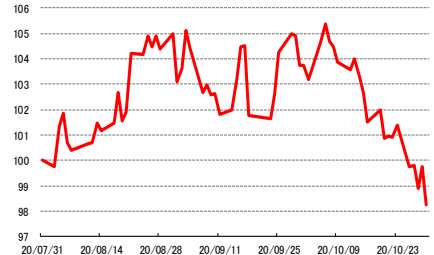
7. TOPIX 株式 JPY
終値: 1,579.33 期間騰落率: +5.57%



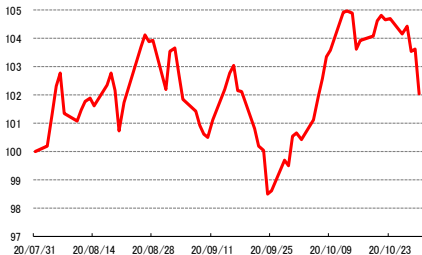
8. 日経平均株価 株式 JPY
終値: 22,977.13 期間騰落率: +5.84%



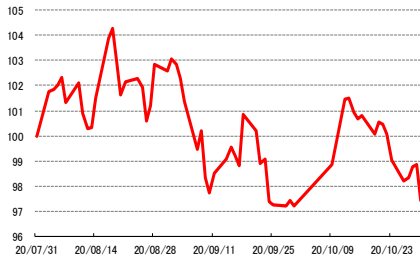
9. 東証REIT指数 株式 JPY
終値: 1,635.35 期間騰落率: -1.75%



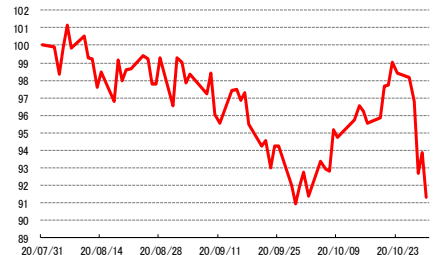
10. MSCIマージン 株式 USD
終値: 148,790.20 期間騰落率: +2.05%



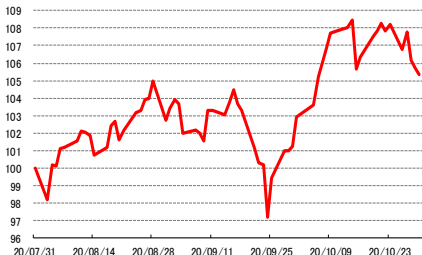
11. 中国 上海総合指数 株式 CNY
終値: 3,224.53 期間騰落率: -2.58%



12. ブラジルボババ指数 株式 BRL
終値: 93,952.40 期間騰落率: -8.71%



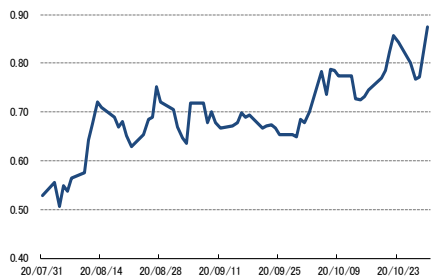
13. インドSENSEX30 株式 INR
終値: 39,614.07 期間騰落率: +5.34%



※ 直近3か月（2020年8月～2020年10月）の日足チャートです。起点（2020年7月末日）を100として指数化しています。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ プルームバーグデータをもとに弊社作成。

14. 米国国債10年利回り 債券

終値: 0.87 期間騰落幅: 0.35 (実数値ベース) USD



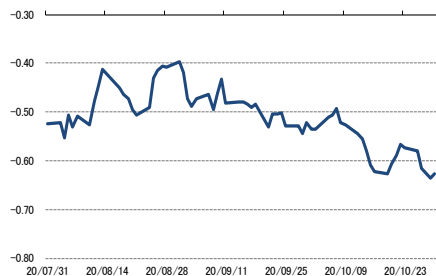
15. カナダ国債10年利回り 債券

終値: 0.66 期間騰落幅: 0.20 (実数値ベース) CAD



16. ドイツ国債10年利回り 債券

終値: -0.63 期間騰落幅: -0.10 (実数値ベース) EUR



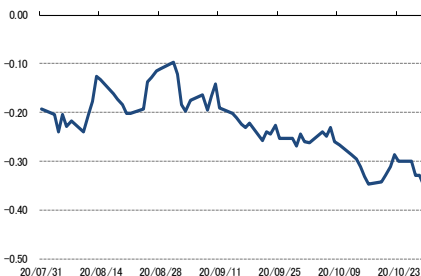
17. 英国国債10年利回り 債券

終値: 0.26 期間騰落幅: 0.16 (実数値ベース) GBP



18. フランス国債10年利回り 債券

終値: -0.34 期間騰落幅: -0.15 (実数値ベース) EUR



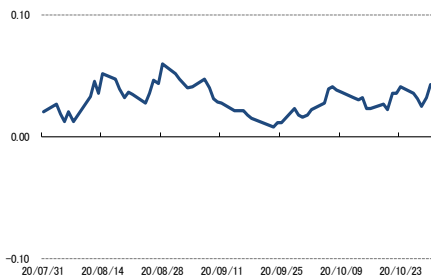
19. オーストラリア国債10年利回り 債券

終値: 0.83 期間騰落幅: 0.01 (実数値ベース) AUD



20. 日本国債10年利回り 債券

終値: 0.04 期間騰落幅: 0.02 (実数値ベース) JPY



21. USD投資適格社債 トータルリターン 債券

終値: 190.44 期間騰落率: -2.33% (実数値ベース) USD



22. USD投資適格社債 対米国債スプレッド 債券

終値: 1.35 期間騰落幅: -0.04 (実数値ベース) USD



23. USDハイイールド社債 トータルリターン 債券

終値: 2,207.52 期間騰落率: +0.42% (実数値ベース) USD



24. USDハイイールド社債 対米国債スプレッド 債券

終値: 5.09 期間騰落幅: 0.21 (実数値ベース) USD

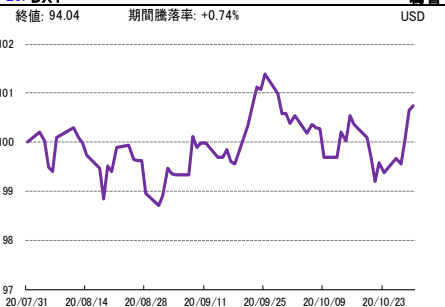


※ 直近3カ月（2020年8月～2020年10月）の日足チャートです。起点（2020年7月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。

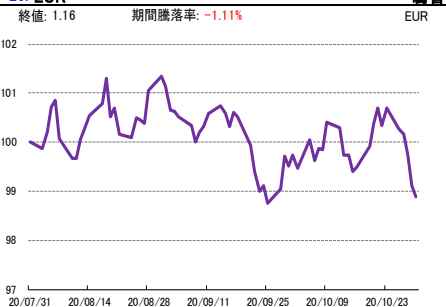
※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。

※ プルームバークデータをもとに弊社作成。

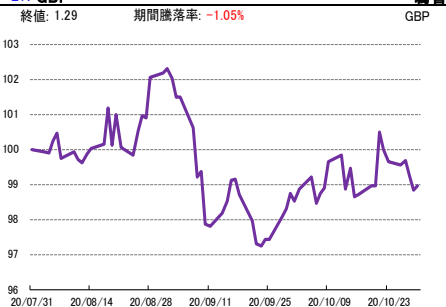
25. DXY 為替 USD



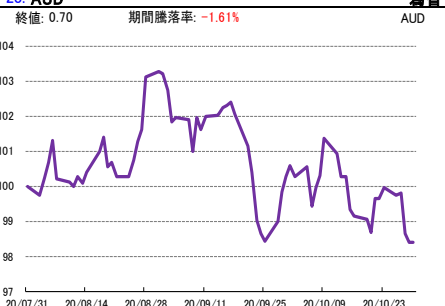
26. EUR 為替 EUR



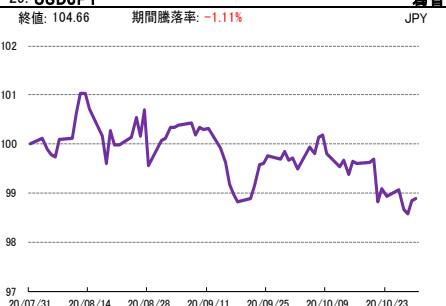
27. GBP 為替 GBP



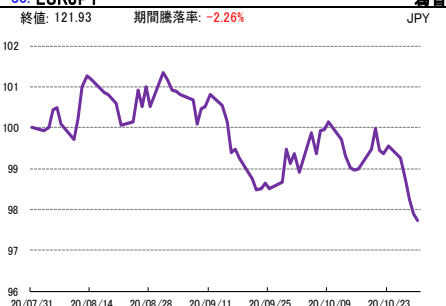
28. AUD 為替 AUD



29. USDJPY 為替 JPY



30. EURJPY 為替 JPY



31. CRB指数 コモディティ USD



32. WTI原油 コモディティ USD



33. CMX金先物 コモディティ USD



34. VIX VIX USD



※ 直近3カ月（2020年8月～2020年10月）の日足チャートです。起点（2020年7月末日）を100として指数化しています(実数値ベース以外)。
 ※ 各指数につきましては最終ページをご参照ください。
 ※ プルームバークデータをもとに弊社作成。

当資料のお取り扱いに関する留意事項、使用している指数等について

当資料は情報提供を目的としてアストマックス投信投資顧問株式会社※が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なく変更することがあります。当資料で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。

※2021年3月8日付で商号を「PayPayアセットマネジメント株式会社」に変更する予定です。

使用している指数は以下の通り（すべて現地通貨建て）

【株式】

MSCI World：MSCIワールド・グロス・トータルリターン・インデックス、S&P500：S&P500種株価指数、STOXX欧州600：STOXX Europe 600種株価指数、独DAX：ドイツDAX指数、英FTSE100：イギリスFTSE100指数、仏CAC40：フランスCAC40指数、TOPIX：東証株価指数、MSCIエマージング：MSCIエマージング・グロス・トータルリターン・インデックス、中国 上海総合指数：中国 上海総合指数 (Shanghai Stock Exchange Composite Index)、ブラジルボベスパ指数：ブラジル ボベスパ指数 (Ibovespa Index)、インドSENSEX30：S&P BSEセンセックス指数 (S&P BSE Sensex Index)

【債券】

USD投資適格社債_トータルリターン：Bloomberg Barclays米ドル建て投資適格社債トータルリターン・インデックス、USDハイイールド社債_トータルリターン：Bloomberg Barclays米国米ドル建てハイイールド社債トータルリターン・インデックス

【為替等】

DXY：米ドル・インデックス、EUR：ユーロ/米ドル 為替スポット、GBP：英ポンド/米ドル 為替スポット、AUD：オーストラリアドル/米ドル 為替スポット、USDJPY：米ドル/円 為替スポット、EURJPY：ユーロ/円 為替スポット、WTI原油：WTI原油先物価格1番限、CMX金先物：COMEX金先物価格1番限、VIX：CBOE S&P500ボラティリティ・インデックス

出所：ブルームバーグ